

第2号議案：平成27年度事業報告(案)並びに同決算報告(案)承認の件

平成27年度事業報告(案)

(自平成27年4月1日～至平成28年3月31日)

I. 概況

平成27年度のコンクリートパイルの需要予測については、デフレからの脱却を目指す政府、日銀によるてこ入れ策の継続や、輸出関連産業における業績改善を背景とした設備投資増や消費支出の増加による景気拡大に伴う需要増を期待しつつも、大幅な需要増の見通しができる明らかな材料が見当たらないところから前年度比若干増としていたが、結果としては、平成27年度のコンクリートパイルの出荷量は、2,701千トン、前年度比96.6%、予測比94.5%となった。需要部門別では、官需は677千トンで前年度比72.0%、民需は2,024千トンで前年度比109.0%となった。

要因としては、工場、物流倉庫、事務所・店舗などの需要が地域によって比較的好調であったところから民需がかなり下支えしたものの、官需がほとんどの部門で大幅な落ち込みとなったことから全体としては予測を大きく下回ることとなった。

一方、コンクリートポールの需要量は、662千トンで、前年度比97.1%と前年を下回った。

このような状況の中、平成27年度は事業計画に沿って以下の事業を行った。

II. 会務

1. 会員の動静(順不同、敬称略)

1.1 会員の入会・退会

入会 : なし

退会 :

(1) 安藤コンクリート工業株式会社

現在数 : 40

1.2 賛助会員の入会・退会

入会 : なし

退会 : なし

現在数： 9

1.3 会員代表者等変更の届出

- (1) 日本ヒューム株式会社(平成 27 年 5 月 21 日)
(新) 専務取締役 大川内 稔 (旧) 代表取締役社長 野村 静夫
- (2) 株式会社トーヨーアサノ(平成 27 年 5 月 21 日)
(新) 代表取締役副社長 植松 泰右 (旧) 代表取締役社長 植松 眞
- (3) コーアツ工業株式会社(平成 27 年 5 月 8 日)
(新) 代表取締役社長 吉田 三郎 (旧) 代表取締役社長 白石 純孝
- (4) NC貝原コンクリート株式会社(平成 27 年 6 月 26 日)
(新) 代表取締役 井上 安弘 (旧) 代表取締役 貝原 清三郎
- (5) 日本海コンクリート工業株式会社 (平成 27 年 6 月 30 日)
(新) 代表取締役社長 宮島 悦郎 (旧) 代表取締役社長 本山 信男
- (6) 株式会社ナルックス(平成 27 年 10 月 1 日届出)
(新) 代表取締役社長 高岡 哉史 (旧) 代表取締役社長 三浦 忠雄

1.4 住所変更の届出

- (1) 児玉コンクリート工業株式会社(平成 27 年 4 月 27 日届出)
(新) 〒171-0022 東京都豊島区南池袋一丁目 16 番 20 号
(旧) 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-9-9
- (2) 株式会社フローリック(平成 27 年 7 月 8 日届出)
(新) 〒171-0013 東京都豊島区東池袋 1-10-1 住友池袋駅前ビル 5F
(旧) 〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-52-8 大河内ビル 4F
- (3) 山崎パイル株式会社 (平成 28 年 3 月 22 日届け出)
(新) 〒959-2221 新潟県阿賀野市保田 1280 番地 7
(旧) 〒959-2004 新潟県阿賀野市南阿野町 5-15

1.5 会員社名変更

なし

2. 理事の選任

第 26 回総会(平成 27 年 5 月 21 日開催)において、期中における退任理事の後任として以下の 3 名の理事が選任された。任期は、次年度の通常総会(平成 28 年度)の終結の時までとなっている。

理 事 大川内 稔 日本ヒューム株式会社

理 事 植松 泰右 株式会社トーヨーアサノ

理 事 中西 章夫 九州高压コンクリート工業株式会社

なお、総会当日に開催された理事会において、野村 静夫 理事・副会長の辞任に伴い、後任副会長として大川内 稔理事が選定された。

3. 会議

3.1 『平成 27 年度(第 26 回)通常総会』

平成 27 年 5 月 21 日(木) 13:30~14:15 東海大学校友会館「富士の間」
東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 35 階

3.2 『理事会』 平成 27 年度に開催された理事会は、次の通りである。

『第 196 回理事会』 平成 27 年 4 月 16 日(木) 11:10~12:05 ポパ協会会議室
にて開催

『第 197 回理事会』 平成 27 年 5 月 21 日(木) 12:30~13:10 東海大学校友会館「三保の間」にて開催

『第 198 回理事会』 平成 27 年 5 月 21 日(木) 14:30~14:35 東海大学校友会館「富士の間」にて開催

『第 199 回理事会』 平成 27 年 7 月 23 日(木) 11:00~11:45 ポパ協会会議室にて開催

『第 200 回理事会』 平成 27 年 10 月 22 日(木) 11:00~11:35 ポパ協会会議室にて開催

『第 201 回理事会』 平成 28 年 1 月 21 日(木) 11:20~12:05 ポパ協会会議室にて開催

Ⅲ. 事業報告

1. コンクリートポール・パイルの製造及び品質に関する普及・啓発

総務委員会に総務・広報部会、安全・環境部会、需要拡大部会の 3 部会をおき、普及・啓発のための事業を実施した。

1.1 《総務・広報部会及び事務局》

(1) 協会誌の発行及びホームページの維持・管理

協会誌「礎」23 号を発行し、会員各社及び各地区事務所に配布するとともに、関係官庁・関係機関等に提供配布し、コンクリートポール・パイルの普及啓発に務めた

ホームページ製品紹介サイトの内容について、技術委員会の助言を経て改修を行った。

(2) 軽油引取税の減税措置について、セメント製品製造業が平成 27 年度から 3 年間延長することが決定された。

(3) 経済産業省が中小企業への支援として行っているセーフティネット保証 5 号の指定業種としてコンクリート製品製造業が平成 28 年 6 月 30 日まで引き続き指定となった。

1.2 《安全・環境部会及び事務局》

- (1) 安全・環境部会を開催し、平成 27 年の労働災害・労災保険率調査を行った上、その結果を以下の内容の報告書としてまとめ、会員及び関係機関に提供した。
 - ① 平成 27 年労働災害実態調査結果の概要（災害件数、度数率、強度率、労災保険率、年間無災害工場など）
 - ② 労働災害実績集計
 - ③ 労働災害状況分析
 - ④ 業務災害事例
 - ⑤ 安全表彰事業場
- (2) 各地区安全・環境対策委員会委員長会議を安全・環境部会と合同で開催し、各地区における労働災害報告及び第 6 回労働災害防止中期計画（平成 26 年～平成 28 年）の取り組み状況等について情報交換を行った。
- (3) 平成 27 年労働災害実態調査結果から安全表彰事業所候補の選定を行い、理事会に報告した。

1.3 《需要拡大委員会及び事務局》

- (1) 平成 27 年度の各地区での需要拡大活動計画と前年度に実施した活動結果についての情報を集約し、各地区に提供した。
- (2) 国土交通省主催による建設資材需要連絡会においてコンクリートポール及びパイルの需要動向について報告した。

2. コンクリートポール・パイルの製造及び品質に関する情報の収集・提供 《需要動向調査委員会及び事務局》

毎月コンクリートポール及びコンクリートパイルの生産、出荷、在庫状況について全会員からデータを収集し、その結果を生産・出荷・在庫統計、地区別出荷交流表、都道府県別・需要部門別出荷調査、径別生産・出荷の統計として集計・分析しその報告書を会員並びに関係機関に提供した。

また、四半期ごとに需要動向調査委員会を開催し、各地区における需要動向の報告及び統計結果に基づき需要動向を調査・分析し、それらの結果を理事会に報告した。このほか、コンクリートパイルの平成 28 年度の地区別及び全国の需要予測を策定した。

3. コンクリートポール・パイルの製造及び品質に関する調査・研究 《技術委員会及び事務局》

技術委員会及び分科会の合同会議を開催し、技術課題に関わる協会内外のこれまでの活動状況報告を行い、以下の調査、研究を行った。

- (1) 次に掲げるコンクリート製品関連 JIS の改正作業が最終段階となり、日本工業標準調査会の土木技術専門委員会での審議が行われたが、その過程において当協会から改正を提案していた事項についての専門委員会からの指摘、質問等に対する回答の検討を行った。

JISA5361 プレキャストコンクリート製品－種類、製品の呼び方及び表示の通則

JISA5362 プレキャストコンクリート製品－要求性能とその照査方法

JISA5363 プレキャストコンクリート製品－性能試験方法通則

JISA5364 プレキャストコンクリート製品－材料及び製造方法の通則

JISA5365 プレキャストコンクリート製品－検査方法通則

JISA5372 プレキャスト鉄筋コンクリート製品

JISA5373 プレキャストプレストレストコンクリート製品

また、この作業と並行してこれらの JIS 改正に伴う解説書の編集が行われており、その内、コンクリートポール及びパイルに関わる個所についての執筆、編集を行った。

なお、これらの JIS の改正公示は平成 28 年 4 月 20 日となった。

- (2) 公益社団法人プレストレストコンクリート工学会から同学会の刊行書である「プレストレストコンクリート」への PC 技術情報紹介記事の執筆依頼があったため、ポール分科会主査に執筆をお願いし、プレストレストコンクリートポールについての技術情報を紹介した。
- (3) 一般社団法人コンクリートパイル建設技術協会と共同して、以下の実証実験を実施した。

- ① 高強度鉄筋及び従来型鉄筋を用いた PHC くい（JIS 強化くい）のせん断試験・曲げ試験等を実施し、耐力と変形性能を確認する研究を行い、本年度で終了した。
- ② 一般社団法人日本建築学会の「建築基礎構造設計指針」の改定に対応して、コンクリートパイルの終局状態に至る変形性能を確認するための実証実験を実施した。この実験の全体計画は平成 26 年度から平成 28 年度までの 3 年計画となっているが、当協会は平成 27 年度及び平成 28 年度の計画に参画している。

- (4) コンクリート製品 JIS 協議会の運営に参画し、コンクリート製品の技術動向等について情報収集を行った。

4. コンクリートポール・パイルに関する内外関係諸機関との連絡提携及び協力《事務局》

経済産業省、国土交通省、厚生労働省、試験機関等及び関係団体と連携を

計りつつ、関係業務に対処した。

- (1) 経済産業省等の関係省庁からの要請に基づき、会員企業へ様々な周知を行った。
- (2) セメント関連団体協議会、一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会等の事業に参加し、他業界との情報交換に務め、これを通じて関係団体とともに共同で関係官庁に意見・具申を行った。

5. 本会の目的を達成するために必要な事業

《運営委員会》

正副会長会議及び理事会からの諮問事項について審議し、答申した。また、協会の各委員会から理事会への上申事項についての調整・審議を行った。

以下は、平成 27 年度における運営委員会での主要な検討事項。

- ① 平成 27 年度総会議案及びその提案資料作成の審議、検討
- ② 一般社団法人コンクリートパイロ建設技術協会から協力要請のあった、コンクリートパイロの変形性能に関わるデータ収集のための実証実験を協同で実施する件についての検討。
- ③ 平成 28 年度事業計画（案）及び収支予算（案）策定骨子の検討。
- ④ 平成 28 年度コンクリートパイロの需要予測の検討
- ⑤ その他

一般社団法人 コンクリートポール・パイロ協会